



1位 東京五都市カントリー倶楽部／460ストローク



2位 多摩カントリークラブ／460ストローク



3位 青梅ゴルフ倶楽部／472ストローク

## プロフェッショナル登場

武蔵野GC・児島洋彦所長

### 常に自然と天候との勝敗

武蔵野GCでの倶楽部対抗予選は12年ぶりである。今回は私が武蔵野GCに赴任して2か月弱で、本グリーンの高麗グリーンを使用した覚えがあるが、今回はベントグリーンの使用となった。武蔵野GCでのコースセッティングはいつもながら、どうシミュレーションして仕上げるか苦慮する。この理由は、幅がなく距離もない。そして傾斜のきつい小さな土構造の受けグリーンだからである。また今回は春の競技なので、萌芽を気にしながら昨年の秋から長期間に渡り維持管理しなければならなかった。今競技のセッティングだが、この5月は観測史上もっとも暑い5月でドライ状態がかなり続き、ほとんど散水中心の維持管理になってしまっていた。夏の暑さと違って、いくら水を撒いても乾いていく状態はあまり経験したことがなく、結果、グリーンは競技前日まで15分散水を実施し、コンパクションはあげられなかった。また、雑排水の混ざっている池の水を長期間使用したので、窒素コントロールも不能となり、11フィートを目指していたが、やっと10フィートに達した状態だった。また、ラフもドライ状態が続いたので刈り込みはせず、この季節特有の芝生の穂を生かしたラフにセットした。フェアウェイはなるべくランが出ないように通常から11.5ミリの逆目ワンウェイ刈りを行っている。結果的に当日は風が吹いてきたせいか、トップが72というスコアで収まったので、ほど良いセッティングだったのではないかと自負している。



平成27年5月18日(月)、心配された天候も無事、澄んだ青空と爽やかな風のなか、関東倶楽部対抗東京会場予選競技が、当武蔵野ゴルフクラブにて開催されました。

当倶楽部は昭和35年11月に開場した50年以上の歴史のある丘陵コース。平成25年10月には『スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会ゴルフ競技会・少年男子』の会場となっており、今競技はそれ以来の大きな公式競技となりました。

アウトコースはホールごとには大したアップダウンもなく、第1打の落下地点からのセカンドショットは距離が測りやすいですが、インコースは一部、ティーショットの落としどころに起伏があり、バウンドが左右されるといった戦略を要求されるコースです。特にスタートホールの1番と10番は左右がOBと、とても緊張を強いられるスタートホールとなっています。

コースセッティングもフェアウェイとラフとは、しっかりとした差が出るように工夫され、良いショットには良い結果が、悪いショットにはそれなりのペナルティーが与えられるように仕上がりました。

午前7時30分、アウトコースAクラス、インコースBクラスともに、競技委員の選手紹介のあと競技が開始されました。予想どおりアウト、インともに第1打は大変なプレッシャーとなり、無事フェアウェイにボールを運び終えた選手は安堵の表情(笑顔)、暫定球を打たなければならぬ選手には、さらなるプレッシャーが襲いかかります。順調にスタートホールを終えた選手も、その後には深く穂の付いたラフに手こずり、普段とは違った緊張感

東京

会場予選

## 武蔵野ゴルフクラブ

国体開催から2年目、倶楽部対抗競技を迎えて

3第3ブロック



のなかでプレーが続きます。ティーインググラウンド、セカンド地点、グリーン周囲では、朝早くから選手の応援にかけつけた各倶楽部関係者、会員、選手のご家族の皆様が熱い声援を送っています。この雰囲気こそが倶楽部対抗と言えるでしょう。

最終組が後半のスタートへ向かう頃、トップスタートの選手たちが最終ホールのグリーンへと上がってきました。皆、真剣な眼差しでパットを終えると、表情は一転して安堵の笑顔がこぼれます。思いどおりにプレーできなかった選手も、緊張感から解放された気持ちのほうに優先するのでしょう。悔しさを口にしながらも、笑顔なのが印象に残ります。

次々と選手が上がりつくと、皆の注目はスコアボードへと移り、喜びのどよめき、嘆きの溜息が聞こえてきます。結果は優勝、準優勝が同スコアとなりましたが、タイの決定規定により東京五都市カントリー倶楽部の優勝となり、準優勝の多摩カントリークラブ、3位の青梅ゴルフ倶楽部が6月23日に行われる第3ブロック大会(埼玉・東京・神奈川)への進出が決定しました。

当倶楽部は昨年4位、今年は地元開催ということもあり、ブロック大会への進出を目指して練習に励みましたが、残念ながら7位という結果となりました。

最後になりましたが、竹村競技担当委員長ならびに競技委員の皆様、開催にあたりご尽力いただきました皆様方のおかげで、無事に競技を終了することができました。心より御礼申し上げます。(武蔵野ゴルフクラブ支配人・前田光二)



左から。Aクラスの指田選手、山中選手、Bクラスの和田選手。



武蔵野GCの小宮山理事長。佐藤大会会長。



開催倶楽部、武蔵野GCの代表選手と関係者。